

閉塞性動脈硬化症 Q&A

～閉塞性動脈硬化症対策～その②

第2回目は、閉塞性動脈硬化の治療を Q&A で解説致します！！前回にもお伝えしましたが閉鎖性動脈硬化とは、動脈硬化が原因で、手足（主に足）の血流障害を来すものです。是非、参考にさせていただければと思います。



川崎幸病院 血管外科医長

光岡明人 (Mitsuoka Akito)

Q1: まず第一にどのような治療がありますか？

A1: 治療の第一歩になるのが「運動療法」と「薬物療法」です。「運動療法」では、無理のない程度という前提はありますが、毎日、歩くことが基本になります。これは足の筋肉を使うことで足の血行がよくなるのと同時に、たとえ本来の血管が狭なったり多少詰まっても、血管の側副血行路が出来るためです。もう一つは、「薬物療法」。血管を拓げる薬や、血管をさらさらにして血が固まりにくくなる薬などを患者さんの症状に合わせて使います。

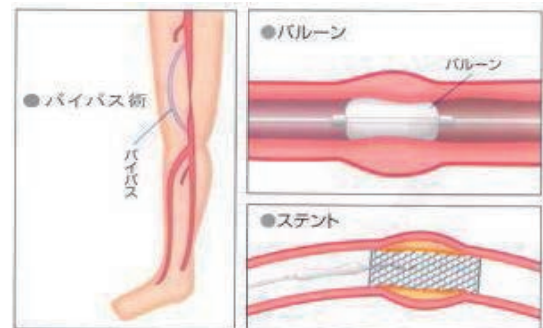
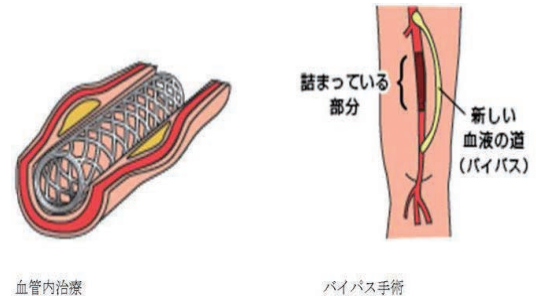
Q2: さらに治療が必要な場合はどのような方法がありますか？

A2: 狭心症などの手術治療と同じく、「カテーテル治療」と「バイパス手術」です。前者は、足の血管の中にカテーテルを入れて、詰まっている部分をカテーテルで膨らます方法です。後者は、隣にある足の静脈を取ってきて動脈につないだり、人工血管を使って、詰まった動脈のバイパスを作る手術を行います。

Q3: どんな事を日常生活で気をつける必要がありますか？

A3: まずは「禁煙」です。タバコは血管を収縮させる働きがあるため、血行が悪くなるし、動脈硬化そのものも進行させてしまいます。「食生活」では、コレステロールを含む食品を控え、カロリーや塩分を減らす事です。また、糖尿病の方はそのコントロールが必要です。この病気の患者さんでは、足の小さな傷、水虫や靴ずれなどから、潰瘍や壊死になることはあるので、「毎日、足をチェックして異常がないか確かめ、足を清潔に保つ」、「靴ずれが起きないようにサイズのあった靴を履くこと」なども大切です。

◆カテーテル治療（血管内治療）、バイパス術の参考画像



ご相談、ご質問等は、下記クリニックまでお気軽にご連絡ください。

お問い合わせ先

社会医療法人財団 石心会
川崎幸クリニック

川崎市幸区南幸町 1-27-1
TEL 044-511-2112 (外来予約)

社会医療法人財団 石心会
川崎クリニック

川崎市川崎区日進町 7-1

TEL 044-222-9259 (外来予約)